

## 成果の説明書

(氏名)	鈴木 陽子	(学部)	地域政策学部
1 重要事項			
(1) 教育活動			
① 初年次ゼミ、グループ研究、基礎ゼミ、法学 A、憲法、比較憲法を担当した。パワーポイントと連動した資料を用いて、資料や写真を提示し、概念等を視覚的に理解しやすい授業運営を心がけた。			
② 基礎ゼミでは、判例研究として簡易な模擬法廷を行うことにより、より深い判例の理解と実態的な視点から権利・義務を考える機会とした。判例研究ごとにまとめとして公務員試験等の論述問題を課題として提出させ、相互に採点を行わせたことにより自身の書いた文章を客観的に見ること、また文章表現や構成力等の向上を目指した。			
(2) 研究活動			
【学会活動等】			
① 憲法学会理事 (2017 年 10 月～)			
② 憲法学会運営委員 (2017 年 10 月～)			
【論文等】			
① 憲法学会で発行予定の記念論文集「立法事実を用いた違憲判決 (仮)」について原稿を執筆中である。			
② 『憲法入門』教科書の原稿を執筆中である (共著、一藝社で出版予定)。			
(3) 学内業務			
① 8 月 4 日のオープンキャンパスにおいて、高校生に向けた模擬講義「パスポートを返せ?! 海外渡航の自由とパスポート」を行った。			
(4) 社会貢献			
① 埼玉県情報公開審査会 審査委員 (2018 年 4 月～)			
2 その他の事項			
3 次年度以降の計画・抱負			
① 立法事実による憲法判断について、判断の枠組みを分析する方法を構築していくこと			
② アメリカ大統領による法律の執行・不執行の判例についての研究をすすめること			